

## 韓国南部農村集落の空間構成と風水観

発行 060223 伊藤庸一 Email ito@nit.ac.jp http://leo.nit.ac.jp/~ito/

韓国南部農村 九萬面 空間構成 風水 背山臨水 主山・案山

### 1 はじめに

韓国では古来より風水が信じられてきた。図1は李氏朝鮮時代の歴史をいまに伝えるソウルの昌徳宮、昌慶宮、宗廟の地図であるが、風水に基づき、中ほどの小高い土地に対し、昌徳宮は東向きに、昌慶宮は西向きに、宗廟は南西向きに構えられている。これは風水が背山となる地形を吉とするため、人間の活動の場である陽宅、死者をまつ陰宅のいずれにも共通する。集落では、伝統的な集落として知られる河回が、上層階級である両班住居、農民階級のいずれも小高い土地を背山とし、川に向かう立地を取っていて、風水をよく表している。

このことに関する文献は数多いが、古典とも言える「朝鮮の風水」(朝鮮総督府、国書刊行会、1972)が詳しい。これによれば、図2上部の祖宗山から続く山並みが、図下部の朝山に向かって盆地を囲むように続く。盆地の上方に主山がそびえ、盆地の下方には低い案山が位置し、盆地には河川が流れる。このような地形では盆地に生氣が生まれ、主山の麓あたりが居住地として適地となる。この居住適地を表す概念が背山臨水であり、上に述べた昌徳宮、昌慶宮、宗廟も、



図1 昌徳宮・昌慶宮・宗廟



図2 山局圖

河回も、「朝鮮の風水」で示す山局図には合致しないものの、小高い土地を背に、河川や池を前にした立地で、背山臨水になっている。

こうした基礎知識をもとに、韓国南部の農村である慶尚南道固城郡九萬面(面は日本の村に相当)で集落の空間構成に風水観がどのように反映されているかを検討した。九萬面は、周囲を山並みで囲まれた盆地の地形で、九萬川が北から盆地を通り、東南に流れる。盆地は水田として開墾されていて、盆地を囲むように山裾を始めとして14の集落が立地する。九萬面の立地そのものが山局図に近似した構成を示す。山局図に照らして九萬面の集落を考えれば、盆地北側の5花村集落、6堂山集落が適地となる。また、風水の基本概念である背山臨水に従えば、東の山裾に立地する2孝大集落は東・山・西・川/水田、西の山裾に立地する9苧洞集落は、西・山・東・川/水田の配置にならねばならない。このことの検証が目的の一つである。

風水による居住適地には主山が欠かせない。「朝鮮の風水」では、集落を鎮護する働きがあり、鎮山と呼ぶこともされるとされる。また案山は生氣をとどめる役割があるとされる。これら、主山・案山がどのように認識され、また集落の配置にどのように反映されてい

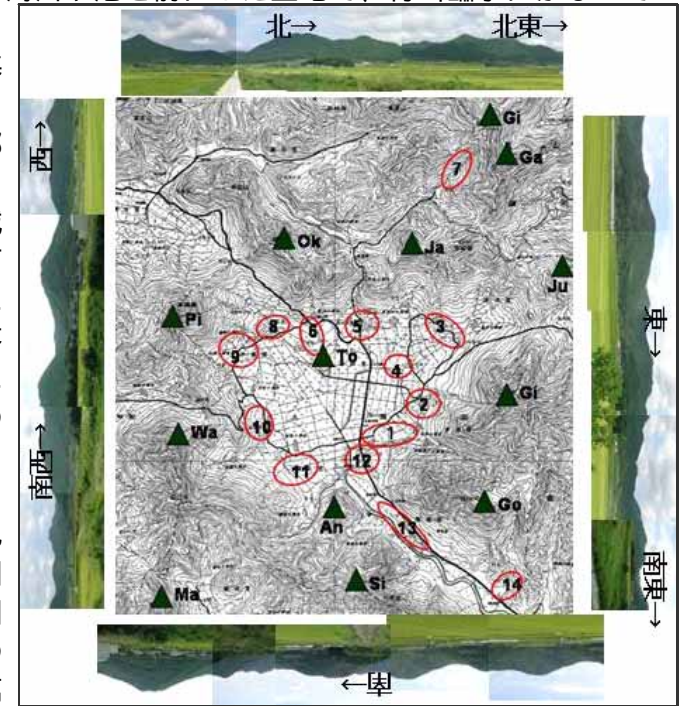


図3 九萬面の集落立地と山並み

るかの確認が第二の目的である。

調査は、西日本工業大学岡田知子助教授、長崎総合科学大学松尾有平助手と合同で、05年9月に実施した。本稿に関する調査内容は、九萬面事務所で集落基礎データ収集、および聞き取り、九萬面老人会館で老人会の面々に聞き取り、14集落で集落・住居構成を観察記録のうえ主山・案山の聞き取り、九萬面の構成および主山・案山の観察記録である。

## 2 集落構成と背山臨水

14集落の主山・案山一覧を表1に、集落構成モデル一覧を図4に示す。

1 洛洞は盆地の東南に立地し、九萬面事務所、小学校、銀行、商店、老人会館などが並び、九萬面の中心集落である。主山は集落の東やや北に位置する GiTaeBong 435m、案山は集落の南に位置する AnSan（案山）と呼んでいる山になる。案山を地図で確認したが名前の記載はなかったが、集落からよく見える山で AnSan が愛称になったようである。水田／川は集落の西になり、西向きの背山臨水に対し主山はやや北寄り、案山はやや南寄りの構成になる。

表1 九萬面14集落の主山・案山

			主山	高さ(m)	案山	高さ(m)
1	洛洞 89世帯	Naek Dong	Gi Tae-Bong	435	An-San	?
2	孝大 44世帯	Hyo Dae	Gi Tae-Bong	435	Pill Doo-Bong	420
3	酒平 48世帯	Joo Pyung	Juk Suk-San	498	Gon Ji-Bong	358
4	新溪 18世帯	Sin Gae	Juk Suk-San	498	(川)	-
5	花村 37世帯	Hwa Chyon	Jak Yak-San	387	Gi Tae-Bong	435
6	堂山 54世帯	Dang San	Ok Nyou-Bong	320	Tong Mae	80
7	仙洞 18世帯	Sun Dong	Ga Nam-San	529	Si Ru-Bong	239
8	蓮洞 46世帯	Yeun Dong	Pill Doo-Bong	420	Gon Ji-Bong	358
9	苧洞 36世帯	Ju Dong	Pill Doo-Bong	420	Gon Ji-Bong	358
10	臥龍 51世帯	Wa Ryoung	Wa Ryoung-San	?	Gon Ji-Bong	358
11	龍唐 35世帯	Yang Dang	Mal Mu Dum-San	286	An-San	314
12	廣岩 63世帯	Gwang Am	Gon Ji-Bong	358	An-San	314
13	中岩 27世帯	Joong Am	Nam Uh-San	358	Sae Pin-San	(239)
14	徳岩 34世帯	Duk Am	Gon Ji-Bong	358	Gu Rum-San	(239)

2 孝大は盆地の東に立地し、主山は集落東の、洛洞と同じ GiTaeBong、案山は盆地の西に位置し、孝大から山の形が一望できる

PilDooBong 420mである。盆地＝水田／川が集落の西になり、主山－集落－水は西向きの背山臨水の構成になり、案山もほぼ向かいにあって、山局図に近い。

3 酒平は、盆地東の斜面に立地し、主山は集落の北東に位置する JukSukSan 498m、案山は集落の南、東寄りの

GonJiBon 358mで

ある。水田／川は集落の南西になり、主山－集落－水は南西向きの背山臨水になるが、案山は山局図に一致しない。

4 新溪は、比較的新しい集落で盆地内の川沿いに立地する。主山は集落の北東に位置する酒平と同じ JukSukSan である。案山の認識はなく、川に向かって立地しているとのことであった。盆地内に立地するが、主山－集落－水は南西向きの背山臨水になる。

5 花村は、九萬面14集落中かなり古い集落であり、山局図にもかなう南斜面の好立地で、集落名の花も立地の良さを反映している。主山は集落北東の JakYaksan 387m、案山は集落南東の GiTaeBong である。GiTaeBong は洛洞、孝大の主山であり、ある集落の主山がほかの集落の案山、あるいはその逆も数例見られた。

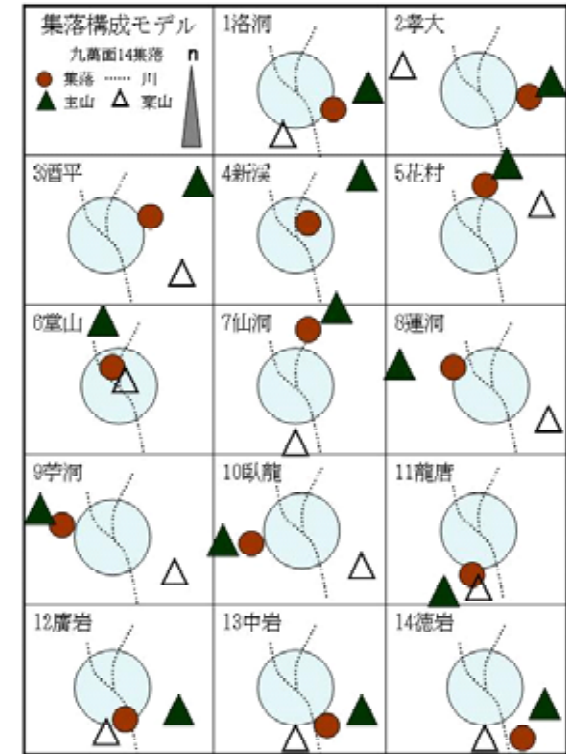


図4 集落構成モデル

水田 / 川は集落の南に位置し、主山 - 集落 - 水はやや南西を向いた背山臨水になるが、案山は山局図から大きくはずれる。

6 堂山は盆地の北西から斜面にのびて立地する。一説にはここがもっとも古い集落だそうだ。主山は集落の北東に位置する OkNyonBong 320m で、案山は集落の南西はずれの丘 = TongMae 80m である。TongMae と呼ばれる丘は九萬面内にいくつかあり、神聖な場、憩いの場として親しまれているが、案山とされるのは堂山だけである。水田 / 川は集落の南に展開しており、主山 - 集落 - 水は南東向きの背山臨水となる。案山は山局図に近似する。

7 仙洞は、花村の北にのぼる道を川沿いに進んだ山間の斜面に立地する。九萬面の盆地と盆地を取り巻く山並みは見えない。主山は集落の北東に位置する GaNamSan 529m、案山は盆地の南に位置する SiRuBong 239m である。SiRuBong は仙洞から直接見えないこと、九萬面の案山として知られること（九萬面の主山は仙洞のさらに北にそびえる GiTaeBong（同名の 435m の山とは異なる））であることから、仙洞集落の案山とは言い難いと考えられる。川は仙洞の南東を流れており、山 - 集落 - 川の背山臨水をとるものの、主山 - 集落 - 川は背山臨水にならない。

8 蓮洞は、盆地北西に立地する。主山は集落の西に位置する PillDooBong 420m で、案山は盆地向こうの南東に位置する GonJiBong 358m である。水田 / 川は集落の南東に広がり、主山 - 集落 - 水は東向きの背山臨水になる。案山は盆地向こうのやや南寄りになり、山局図に近似する。

9 芋洞は、盆地の西に立地し、主山は集落の西やや北寄りの PillDooBong で、蓮洞と同じ山になる。案山は蓮洞と同じ GonJiBong である。水田 / 川は集落の東になり、主山 - 集落 - 水は東向きの背山臨水になる。案山も含め、山局図にほぼ合致する。

10 臥龍は、盆地の西やや南寄りに立地する。主山は集落の西に位置する WaRyoungSan（= 臥龍山）である。地図に名前がなく高さは分からないが、臥龍山の名前から臥龍の人々に親しまれた主山と考えられる。案山は盆地の東側に位置する、蓮洞、芋洞と同じ GonJiBong である。水田 / 水は集落の東に広がっている。主山 - 集落 - 水は東向きの背山臨水となる。案山は盆地向こうやや南より

で山局図に近似する。

11 龍唐は、盆地の南に立地し、主山は集落の南西に位置する MalMuDumSan 286m で、案山は集落の南に位置する AnSan（案山）である。AnSan は地図に名前がないが、集落からの眺望もよく、案山として認識されていると考えられる。水田 / 川は集落の北側に広がっており、主山 - 集落 - 水は北東向きの背山臨水に近い。12 廣岩は盆地の南東、九萬川が盆地を抜けるあたりに立地する。九萬川に沿って道路も下り、中心市街に向かう。逆に言えば、中心市街から九萬面の盆地に入る最初の集落になる。主山は集落の東に位置する GonJiBong（孝大、臥龍の案山）である。案山は集落の南西に位置する AnSan で龍唐の案山に同じである。水田は集落の北に展開し、川は集落を抜けて流れている。部分的に主山 - 集落 - 川、あるいは主山 - 集落 - 水田が背山臨水になるといえるが、案山を含め、山局図には合致しにくい。

13 中岩は、九萬川が下る途中の川沿いの集落である。主山は集落の北東に位置する NamUnSan 358m であるが、地図に照合すると GonJiBong（廣岩の主山）である。案山は SaePinsan だが、やはり地図に照合すると、SiRuBong に相当する。いずれも集落からの眺望もよく、集落に言い伝えられた愛称のようである。水田は川沿いにあり、主山 - 集落 - 水は南西向きの背山臨水になる。案山も山局図の位置にあるが、街道に沿って山並み、川、集落が带状にのびているため、山局図とは合致しない。

14 徳岩は、九萬川のさらに下流の川沿いに立地する、九萬面の最南端の集落である。主山は集落の北東に位置する GonJiBong で、廣岩、中岩に共通する。徳岩からは直接 GonJiBong を見ることはできないが、GonJiBong に連なる山並みが徳岩の北東にのびてきており、徳岩ではこの山並み全体を GonJiBong と呼んでいる。案山は GuRumsan であるが、地図で確認すると SiRuBong であった。徳岩からの眺望もよく、愛称として呼ばれていると考えられる。水田は集落の南西にあり、主山 - 集落 - 水は南西向きの背山臨水になる。案山も山局図に位置になるが、山並みが街道、川に沿ってのびており、山局図には一致しない。

以上から、九萬面の 14 集落では山局図に近似する集落も見ら

れるが、概して山局図の構成を取っておらず、山局図は概念モデルであるといえる。主山 - 集落 - 水田 / 川の構成はかなり合致する。しかし、集落 - 水田 / 川に対し主山が集落背後からずれる場合がある。集落背後の山が主山に連なり、生気の流れにさほど支障がないと考えれば、山 - 集落 - 水の背山臨水がすべての集落で成り立つ。

案山の認識は主山に比べ低い。主山は共通して認識されるが、案山は分からない人も少なくなかった。盆地を山並みが囲い込んでいるため、どれもが案山になりうるとの認識かも知れない。主山に対し案山が高い場合もあるが、それぞれの集落から眺めた場合、主山は背後にあって圧倒し、対して案山は離れてそびえるために、視覚的には主山 > 案山になる。

### 3 主山・案山

14集落の主山・案山を図5に示す（位置は図3参照）。GitaeBong（洛洞、孝大の主山、花村の案山）は旗を掲げた峰の意味である。盆地からも、盆地の向こう側の集落からも見通せる。JukuSuk uSan（酒平、新溪の主山）は石積みの山の意味である。一般に韓国の地層は古く、岩盤が露出する地勢が多い。そうした山の方が



図5 主山・案山一覧（それぞれの集落からの眺め）

生気が盛んと聞き取りもあった。JakYakSan（花村の主山）は、シャクヤク山のことで、シャクヤクが咲き乱れていることから名付けられた。集落名にも通じる。OkNyonBong（堂山の主山）は玉姫峰との意味で、山の形が美しいことから名付けられた。GaNamSan（仙洞の主山）は地名から名が付いた。PillDooBong（蓮洞、苧洞の主山、孝大の案山）は筆頭峰の意味で、山の形が筆の穂先に似て整っていることによる。WaRyongSan（臥龍の主山）は臥龍山の意味である。風水では山並みを龍脈とし、生気が運ばれるとする。生気のある山 = 臥龍を集落名にしたと考えられる。龍唐の主山はMalMuDumSanで、有名な武将の馬が埋められたとの言い伝えがある。GonJiBong（廣岩、徳岩の主山、酒平、臥龍の案山）は女性が顔に付ける飾りのことだそうで、美しさを表している。NamUnSan（中岩の主山）は意味が不明であった。SiRuBong（九萬面、仙洞の案山）は蒸籠峰の意味で、形が蒸籠に似ていることによる。中岩、徳岩では集落の愛称で呼んでいて、中岩では意味不明、徳岩は雲の意味で呼ばれていた。Ansan（写真略）は案山のことであり、TongMaeは丘のことである。つまり、主山・案山はそれぞれの集落からの眺望がよいことのほかに、生気をもたらす力や形の美しさを感じられる山が選ばれていると考えられる。

### 5 おわりに

韓国の農村集落では、背山臨水の空間構成や主山、一部に案山も含めた認識に風水観が反映されていることが確認できた。しかし、風水師の後継者がいないことや風水にとらわれない都市住宅の影響がうかがえることなど、風水観は徐々に弱まり始めているようである。

本稿を始めとする一連の研究は、科学研究費補助金基盤研究 B（海外学術調査）平成 13 年度～平成 19 年度研究課題「東アジアの集住文化にみる共生のしくみ」（代表・岡田知子西日本工業大学助教授）の一環で行われた。調査には、日本工業大学大学院博士満期退学・宋俊淑、同学生・森田剛・Kwan Hyuk Yong、西日本工業大学大学院・楊川武志・金山良太、同学生・瑞慶覧清香・河野真理・藤森将弘・福島明、長崎総合科学大学学生・原田宏美・川崎愛が参加した。現地でご協力いただいた九萬面事務所、九萬警察署、九萬面の方々にて謝意を表す。